

けやきっ子



四日市市立羽津北小学校

令和5年7月20日発行 No. 5

文責：校長 山中 茂生

学校 HP は
こちら



学校 H.P. <http://yokkaichi.ed.jp/~hazukita/cms2/htdocs/>

1 学期終了

本日、1 学期の終業式を終えました。暑い日になりましたが、今回も体育館で対面式での開催としました。今年の1 学期は、感染症による制限が緩和されたことにより、様々な行事を、ほぼ以前の状態で再開することができ、子どもたちはもちろん、私たち教職員にとっても充実感を感じる1 学期となりました。今日の終業式での子どもたちの表情を見ると、いろいろな行事や日々の学校生活の中で自分自身の成長を感じ、満足感を得ている子がたくさんいたように思います。私たち教職員もそのような子どもたちの姿を見て、改めてこの仕事「教職」のやり甲斐を感じているところです。

1 学期の間、保護者の皆様には、登下校の見守りを始め、授業参観・懇談会へのご参加、奉仕作業など、様々な場面でたいへんお世話になりました。ありがとうございます。42日間の長い夏休みになりますが、健康・安全にはくれぐれもご留意いただき、充実した夏休みを過ごすことができるよう願っています。9月1日（金）には、全校の子どもたちが、大きなけがや病気をすることなく、元気に登校してきてくれることを楽しみに待っています。



今年度の運動会は9/30（土）

今年度の運動会は、9月30日（土）四日市ドームにて午前中に開催します。現在、PTA 役員の方々にも会場の利用方法などについて確認・検討していただいているところです。

ドームでの開催のため原則、雨天でも実施しますが、台風接近等による波浪警報などでドームが使用不可となる場合があります。その場合は10月3日（火）に日程を延期し、羽津北小運動場にて開催する予定です。

尚、運動会の詳細につきましては、2 学期になってから改めてお知らせします。



しなやかなマインドセット

先週12日～14日は、お忙しい中、個別懇談会（連絡表渡し）にお越しいただきありがとうございました。懇談会で、各担任とお子さんについての情報を共有していただきましたでしょうか。短い時間でしたので、お話し切れなかったことなどありましたら改めて担任までご連絡ください。

毎年、この夏休み前の「けやきっ子」でお伝えしていますが、お渡ししました連絡表で、その結果に至るプロセス（過程）を認めてやって欲しいと思います。結果だけに着目して褒めたり叱ったりすると、子どもは「次も同じ結果を出さなければならない」や「私はできない子だ」と思い込んでしまい、高いハードルにチャレンジしなくなったり最初から諦めたりして、力を伸ばす機会を自ら放棄してしまうことにつながりかねません。ご家庭でも「ここに◎が付いているのは、自主学習を楽しく進めたからだね」や「ここは△だけど、あなたが

毎日宿題を頑張っているのを、私はすごいと思っているよ」というようにプロセスを褒めることで、結果にこだわらずに「もっと頑張ろう!」、「次も努力しよう!」という意識を持つようになり、難しい課題にチャレンジしたり、こつこつ努力しようとしたりするしなやかな「マインドセット（思考態度）」が育ちます。ぜひ、子どもたちがこれからも自分から学びたくなるように、日常的にプロセスに目を向けてお子さんに声掛けをして、しなやかなマインドセットを育てていただければと思います。



習慣化

明日から長い夏休みに入りますが、子どもたちが自分自身の未来を創る「魔法」を、この場を借りてお伝えします。それはタイトルにもあるように、自分がさらに素晴らしい人になるために必要なことを「習慣化」させるということです。

「インキュベートの法則」という言葉を聞いたことはあるでしょうか。これは、「21日間継続したことは習慣化する」というものです。自分で「これを続けたい」「これを自分のライフワークにしたい」ということを21日間続けると、最初は意識的に行っていたことが終盤には無意識の中で行うようになり、それが習慣になると言われています。

例えば、読書や運動、食事、起床・就寝時刻の固定など、毎日行うことができ、それを続けると自分自身のよりよい成長につながることを毎日続けてみてはどうでしょうか。

「自分は続けることが苦手」と思う人は、ほんの短い時間でスタートすると継続しやすいと思います。

子どもたちには、是非この長い夏休みを使って、自分をよりよく成長させる行動を習慣化させてみて欲しいと思います。また、大人の方でダイエットなどに取り組みたいと思いつながら、なかなか続けられないと言っている方にも、この「インキュベートの法則」を教えるあげると良い結果が得られるかもわかりませんね。